

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 8 市民が自己を高め生きがいを持って暮らせる

行動目標 8-2 市民が生涯を通じて学習活動に取り組める

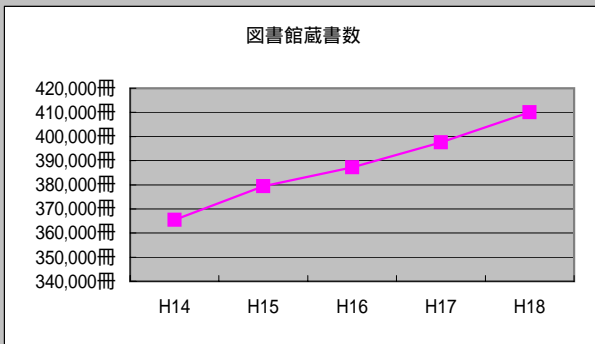
(所管課名 教育委員会図書館)

任務 市民の多様な学習要望に応じ、使い易く居心地の良い図書館を目指す。

任務の成果・活動指標の推移

図書館蔵書数

H14実績	365,421冊
H15実績	379,408冊
H16実績	387,171冊
H17実績	397,586冊
H18目標	410,000冊



図書館利用者数

H14実績	277,079人
H15実績	274,510人
H16実績	293,347人
H17実績	276,975人
H18目標	290,000人

図書館貸出冊数

H14実績	793,365冊
H15実績	865,991冊
H16実績	855,365冊
H17実績	854,792冊
H18目標	856,000冊

指標の説明

図書館の評価は、やはり本についての数値目標が1番解りやすく、蔵書冊数、貸出冊数を中心とし、利用者数を入れて指標とした。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

移動図書館車「かもめ号」を平成16年度に買い替え、引き続き「みなと号」との2台体制で、市内全域サービスの充実に努めた。また、運転業務についても、民間事業者に委託したことにより、効率的で安定した事業運営を行った。

圖書の貸出返却といったものについては、民間に委託し、窓口業務のO A化を推進するとともに、カウンター経験のある臨時職員を育成し、市民の相談にきめ細かく対応できるレファレンス体制を整備した。

図書館の今後のあり方については、平成16年度、17年度と「市民に求められる図書館検討懇話会」をたちあげ、16年度には「提言」、17年度には「意見書」の提出をうけた。その後、議会でもこれら「提言」をどう活用していくのかといった質問があり、市としても「提言」を指針として、平成19年度以降の次期行政経営戦略プランに何らかの予算化を検討していくことになった。

平成18年度

NOx・PM法の関係で「みなと号」も平成20年10月で最後の車検が切れるため、引き続き全域サービスの充実に努めるためにも、平成19年度「みなと号」の買い替えのための予算化を図る。

平日夜間のカウンター体制を強化するため、臨時職員も含めて配置する職員を1名から2名に増員する。

「提言」を指針として、本市図書館にふさわしい「施設規模」や「立地場所」、新たなサービスなどについて考えを早急にまとめ、平成19年度からの次期行政経営戦略プランに反映できるよう準備室などの組織づくりも含めて努力する。

これからの課題、施策等展開の方向性

「提言」を指針とした本市にふさわしい図書館建設の基本構想の策定に向けて体制を整えていく。